

2020 会 告 No.1



上記QRコードより会告のPDF版を閲覧できます。

◇通知・案内事項

○化学工学会第85年会 参加募集……………本号4ページ

◇本部・支部大会行事の開催予定

	(2020)
◇年会	3/15～17(関西大学)
◇秋季大会	9/24～26(岩手大学)
◇支部大会	
◇学生発表会(東地区)	3/7(中央大学)
(西地区)	3/7(岡山大学)

◇本部・各支部・部会行事 (「ゴシック」は新規掲載分および修正分)

行事プログラムの掲載は1回限りです。既載行事はカレンダー会告ページ(または各支部ホームページ)をご参照下さい。

開催年月日	行 事	申込締切	会 告 ページ
1月 January			
9	第106回講演見学会 「繊維技術・利用の最先端：ミズノテクニクス(株)・浅野撚糸(株)の取り組み」(岐阜県)		12号7
10	化学工学一関セミナー(岩手県)	1月7日(火)	12号7
10	第31回化学工学研究会(山口県)		
15	重合工学レクチャーシリーズNo.7「高分子微粒子の製造・機能化からプロセス開発まで」 (大阪府)	1月10日(金)	12号11
20	化学装置材料部会 公開講演(東京都)	1月13日(月)	12号6
20～21	最近の化学工学講習会68「塗布・乾燥技術の基礎とものづくり」(東京都)		11号11
21	第51回CEシリーズ講習会「AI・IoT・ビッグデータ活用の基礎とプロセスへの実装」(東京都)		11号12
22	第27回化学工学イノベーション研究会～次世代再生医療の実現に向けた化学工学の役割～ (大阪府)		12号11
23～24	「モデリング技術の基礎と実践」講座(東京都)		9号10
24	第22回企業と大学・高専の人材育成懇談会(福岡県)		11号13
24～25	第29回化学工学・粉体工学研究発表会(北海道)		12号7
27～29	「反応器の設計」講座(東京都)		9号10
28～29	第26回「エレクトロニクスにおけるマイクロ接合・実装技術」シンポジウム Mate2020 (神奈川県)		
29	クローズアップシリーズ2019「CFDと先進解析技術の融合」(東京都)		11号12
30	関西支部・和歌山地区共催セミナー「プロセス安全の最新動向」(和歌山県)		12号11
30～31	粉体エンジニア早期養成講座【ろ過】(大阪府)		6号9
30～31	「プロセス設計」講座 プロセス基本制御とPFD作成 編(東京都)		9号11
31	第16回分離プロセス基礎講座－膜分離プロセスの基礎と応用－(東京都)	1月17日(金)	12号6
31	第32回CES21講演会「令和に輝く新素材－未来の扉をこじ開ける熱きエンジニア－」 (大阪府)		12号11
31	第65回プロセス設計技術講演会・見学会(宮城県)	1月24日(金)	本号8
2020年2月 February			
未定	山口地区化学工学懇話会第74回講演会・見学会(山口県)		
4	2019年度第5回グローバルテクノロジー委員会(愛知県)	1月28日(火)	本号6
6	開発型企業の会 2019年度第5回技術交流会(東京都)	1月30日(木)	本号7
6～7	GMPセミナー「医薬品製造に関わるGMPの最新動向：講演会&見学会～連続製造技術と装置設計における品質保証～」(大阪府)	1月8日(水)	12号12

7	第18回上席化学工学技士交流会(大阪)(大阪府)	2月4日(火)	12号5
8	第4回「しごとの常識」塾 ～基本編①感受性～(京都府)	2月3日(月)	12号5
10	SCE・Net第123回技術懇談会(東京都)	1月31日(金)	本号7
17	第11回ホットな話題の講演会「気液固分散のオペレーションとデザインの現在と未来」(埼玉県)	2月3日(月)	本号8
17	神奈川県見学講演会「最新タービン技術とその展開」(神奈川県)		本号8
18	第117回東海技術サロン(CSTCフォーラム) 「だれ一人取り残されないために＝僕の国キリバスからのメッセージ＝」(愛知県)		本号9
28	CVD反応分科会 第4回講習会「CVD・ALDプロセスの基礎」(東京都)	2月21日(金)	本号7
2020年3月 March			
5～6	「バッチ操作を伴うプロセス設計」講座(東京都)		本号6
7	第22回化学工学会学生発表会東京大会(東京都)		10号10
7	第22回化学工学会学生発表会岡山大会(岡山県)		10号10
9	第17回キンカ高分子化学研修コース(大阪府)		本号9
14	第5回「しごとの常識」塾 ～応用編①情報としごと～(大阪府)	3月9日(月)	12号5
15～17	化学工学会第85年会(大阪府)		本号4
2020年9月 September			
24～26	化学工学会第51回秋季大会(岩手県)		

◇国際交流行事

会 期	行 事 名	申込締切	会告ページ
3月15～17日(日～火)	International Chemical Engineering Symposia 2020 (ICChES 2020)(大阪府)		本号6

◇共 催・協 賛 行 事(本カレンダーのみのご案内です。詳細は各問合せ先へ直接ご照会下さい。「ゴシック」は新規掲載分)

行 事(場 所)	開催期日	問合せ先	電話番号(FAX) E-mail, URL
第24回関西支部コロイド・界面実践講座： 乳化系および分散系の基礎と評価法～すぐに役立つ即戦 講座～(大阪府)	1月10日(金)	日本化学会コロイ ドおよび界面化学 部会関西支部	06-6963-8023 (06-6963-8040) rie@omtri.or.jp https://forms.gle/RNaD1TtPrYnKaRnj9
第4回新エネルギー・水素部会 シンポジウム カーボンリサイクルの新機軸(東京都)	1月15日(水)	日本エネルギー学 会 新エネルギー・ 水素部会	03-3834-6456 (03-3834-6458) jie-events2019@jie.or.jp https://www.jie.or.jp/publics/index/726/
第31回高分子ゲル研究討論会(東京都)	1月16～17日 (木～金)	高分子学会高分子 ゲル研究会	03-5540-3771 (03-5540-3737) resgl@spsj.or.jp http://main.spsj.or.jp/c12/gyoji/gels.php
トライボロジーの最前線－ナノトライボロジーその場計 測－(大阪府)	1月17日(金)	表面技術協会 関西 支部、日本表面真 空学会 関西支部	075-781-1107 (075-791-7659) kansai-office@sfj.or.jp http://www.sssj.org/Kansai/goudou20117.html
革新的CO ₂ 分離回収技術シンポジウム～地球温暖化防止 に貢献する固体吸収材及び膜による分離回収技術の最新 動向～(東京都)	1月20日(月)	地球環境産業技術 研究機構・次世代 型膜モジュール技 術研究組合	0774-75-2305 (0774-75-2318) mgmsympo@rite.or.jp
表面科学セミナー2020(実践編)(東京都)	1月22～23日 (水～木)	日本表面真空学会	03-3812-0266 (03-3812-2897) office@jvss.jp https://www.jvss.jp

炭素材料学会 1月セミナー(東京都)	1月24日(金)	炭素材料学会	(03-5227-8632) tanso-koshukai@bunken.co.jp http://tanso.org/contents/event/seminar/january_2020.html
日本伝熱学会関東支部セミナー「分野外の技術者にもわかる伝熱工学－最新の研究事例紹介－」(東京都)	1月24日(金)	日本伝熱学会 関東支部	042-388-7089 (042-388-7089) murata@cc.tuat.ac.jp http://www.htsj.or.jp/announcement/1946.html
新エネルギー部会講演会 ～カーボンリサイクル・CO ₂ 利用推進に向けた国内外の情勢と革新技術～(東京都)	1月24日(金)	石油学会	03-6206-4301 (03-6206-4302) events@sekiyu-gakkai.or.jp https://www.sekiyu-gakkai.or.jp/
第25回高専シンポジウム in Kurume(福岡県)	1月25日(土)	高専シンポジウム協議会, 久留米工業高等専門学校	0942-35-9300 (0942-35-9425) sympo25@kurume-nct.ac.jp http://www.cc.kurume-nct.ac.jp/sympo25/
第32回自律分散システム・シンポジウム(東京都)	1月25～26日(土～日)	計測自動制御学会システム・情報部門	042-388-7699 syano@cc.tuat.ac.jp http://sites.google.com/a/sice-das.org/das32th
第14回工業触媒研究会フォーラム(東京都)	1月27日(月)	触媒学会工業触媒研究会	imagawa.kenichi@chiyodacorp.com
第41回安全工学セミナー「安全マネジメント講座」(東京都)	1月27～28日(月～火)	安全工学会	03-6206-2840 (03-6206-2848) jsse-2004@nifty.com http://www.jsse.or.jp/
第36回エネルギーシステム・経済・環境・コンファレンス(東京都)	1月28～29日(火～水)	エネルギー・資源学会	06-6446-0537 (06-6446-0559) webmaster@jser.gr.jp
腐食防食部門委員会『最近の防食塗料と評価方法』(大阪府)	1月29日(水)	日本材料学会	075-761-5321 (075-761-5325) jimu@jsms.jp http://www.jsms.jp
溶接部の腐食トラブル防止事例講習会 溶接部の腐食トラブル防止の基礎と実際－失敗事例に学ぶインフラ・プラント溶接部腐食トラブルとその対策－(東京都)	1月31日(金)	プラント材溶接部腐食合同研究委員会	03-3815-1161 (03-3815-1291) naito-113-0033@jcorr.or.jp
第191回 腐食防食シンポジウム－わが国における腐食コストの推定結果と腐食コスト削減へのシナリオ－(東京都)	2月13日(木)	腐食防食学会・日本防錆技術協会	03-3815-1161 (03-3815-1291) ysm.hng-113-0033@jcorr.or.jp
令和元年度 産総研 材料・化学シンポジウム「21世紀の化学反応とプロセス－「橋渡し」の次のSTEPへ：企業の連携の拡充に向けて」(茨城県)	2月14日(金)	産業技術総合研究所	029-862-6792 isc-web-ml@aist.go.jp http://unit.aist.go.jp/ischem/index.html
第42回 2020産業安全対策シンポジウム(東京都)	2月18～21日(火～金)	日本プラントメンテナンス協会・日本能率協会	03-3434-1410 (03-3434-3593) tech-con@jma.or.jp
第192回 腐食防食シンポジウム－わが国における腐食コストの推定結果と腐食コスト削減へのシナリオ－(大阪府)	2月21日(金)	腐食防食学会・日本防錆技術協会	03-3815-1161 (03-3815-1291) ysm.hng-113-0033@jcorr.or.jp
第34回エレクトロニクス実装学会 春季講演大会(神奈川県)	3月3～5日(火～木)	エレクトロニクス実装学会	03-5310-2010 (03-5310-2011) ishikawa@jiep.or.jp https://confit.atlas.jp/guide/event/jiep2020s/top
第1回世界エンジニアリングデイ記念シンポジウム～ダイアログ：持続可能な成長のための工学の未来～(東京都)	3月5日(木)	日本工学会	03-6265-0672 (03-6265-0673) eng@jfes.or.jp http://www.jfes.or.jp/
第3回安心・安全・環境に関する計算理工学国際会議(COMPSAFE2020)(兵庫県)	3月8～11日(日～水)	COMPSAFE2020実行委員会	secretary@compsafe2020.org http://www.compsafe2020.org

第12回先進プラズマ科学と窒化物及びナノ材料への応用に関する国際シンポジウム (ISPlasma2020) / 第13回プラズマナノ科学技術国際会議 (IC-PLANTS2020) (愛知県)	3月8～11日 (日～水)	応用物理学会	052-581-3241 (052-581-5585) isplasma2020@intergroup.co.jp http://www.isplasma.jp/
公開シンポジウム「総合工学シンポジウム2020—文理の協創によって社会的課題に立ち向かう—」(東京都)	3月12日(木)	日本学術会議 総合工学委員会	03-5841-6960 (03-5841-0651) SCJ_sogo2020symp@save.sys.t.u-tokyo.ac.jp
第70回粉体技術専門講座～食品粉体に関わる先端技術～(東京都)	3月13日(金)	日本粉体工業技術協会	075-354-3581 (075-352-8530) senmon@appie.or.jp https://www.appie.or.jp/FS-APL/FS-Form/form.cgi?Code=senmon1
生産システム部門研究発表講演会2020(東京都)	3月26～27日 (木～金)	日本機械学会	03-5360-3503 (03-5360-3508) kumagai@jsme.or.jp http://www.jsme.or.jp/msd/
第21回マリンバイオテクノロジー学会大会(東京都)	5月30～31日 (土～日)	マリンバイオテクノロジー学会	mbt2020@m2.tuat.ac.jp http://marinebiotechnology.jp/mbt2020/
第57回アイソトープ・放射線研究発表会(東京都)	7月7～9日(火～木)	日本アイソトープ協会	03-5395-8081 (03-5395-8053) gakujutsu@jrias.or.jp https://www.jrias.or.jp/
2020環太平洋国際化学会議(PACIFICHEM2020) (ハワイ州ホノルル)	12月15～20日 (火～日)	日本化学会	03-3292-6163 sakurada@chemistry.or.jp https://pacificchem.org

化学工学会第85年会 参加募集

会 場：関西大学 千里山キャンパス(〒564-8680 大阪府吹田市山手町3丁目3番35号)
 会 期：2020年3月15日(日)～3月17日(火)
 懇親会 会 場：関西大学 千里山キャンパス 凜風館
 懇親会 日 時：2020年3月16日(月)18:00～20:00
 事前参加登録期間：第一期 2020年1月6日(月)～1月31日(金)23:59
 第二期 2020年2月1日(土)～2月15日(土)23:59
 大会WebサイトURL：<http://www3.scej.org/meeting/85a/>
 ※参加登録は上記webサイトからのみ受け付けます。

化学工学会第85年会は、2020年3月15日(日)～17日(火)の3日間、関西大学千里山キャンパスにおいて開催されます。

本大会では、事前参加登録期間が二つあり、それぞれ参加費、懇親会費ならびに支払期限等が異なりますのでご注意ください。

なお、本大会に参加登録された方は、本大会と同地・同日程で開催される国際会議 International Chemical Engineering Symposia 2020 (ICChES 2020)へもご参加いただけます。

奮ってご参加いただきますよう、よろしく願っています。

事前参加登録方法

大会webサイトからお申込みください。

事前参加登録期間は以下の二つです。

第一期 1月6日(月)～1月31日(金)23:59まで
 第二期 2月1日(土)～2月15日(土)23:59まで

注意事項

◇事前参加登録期間 第一期、第二期の違いと注意点

第一期では当日参加料金より参加費(大会、懇親会)がそれぞれ2,000円お安くなります(会員外の方の参加費(大会)のみさらに3,000円お安くなります)。

第二期では当日参加料金より懇親会料金のみ1,000円お安くなります。

是非ご利用ください。

第一期、第二期を跨いだお申込み、お支払はできませんので、ご注意ください。(例：第一期で大会参加のみ登録、第二期で懇親会を追加登録、はできません。この場合、懇親会は当日登録いただくことになります。また、第一期でお申込みいただいたものの、支払期限日までにお支払いただけなかった場合、そのお申込みはキャンセルとなります。第二期に改めてお申込み、お支払いただくか、当日受付をご利用ください。)

◇事前参加登録時の会員資格チェック(個人会員)について

個人会員の方は、事前参加登録に先立ち、本年度年会費の支払い状況を確認いたします。当該webページにアクセスいただくためには会員番号とパスワードが必要ですので、予めご準備ください。事前参加登録いただく時点で本年度年会費のお支払が確認できない場合は、個人会員資格でのお申し込みはできません。年会費をお支払いただいてからweb上で確認できるまで二週間程度かかりますので、未払いの方は早めにお支払ください。

なお、会員資格の確認は当日受付でも行います。

また、大会当日受付での未払い分年会費のお支払ならびに新規入会を受け付けます。この場合、大会参加料金は当日参加料金となります。

会員資格ならびに年会費支払い状況に関するお問い合わせは、化学工学会本部 (<http://www.scej.org/>) にお願いたします。

※本大会で登壇される方(名誉会員、招待者、共催学会の個人会員、対象海外学会の個人会員を除く)および参加(聴講のみを含む)する方で会

員価格で参加登録される方は、本会2020年度(2020年3月～2021年2月)年会費のお支払いが必要です。ご注意ください。

◇事前参加登録のキャンセル(返金)について

第一期、第二期いずれでのお申込みにかかわらず、第二期締切日(2020年2月15日(土)23:59)までであれば、webサイトからキャンセルしていただくことができます。この場合、ご入金いただいた参加費は返金いたします。

第二期締切日以降は一切のキャンセルならびに返金はできません。予めご了解ください。

なお、参加登録資格(会員種別等)の変更はできませんので、その場合は一度キャンセルしていただき、改めてお申込みいただくことになります。この場合、改めて申し込まれた期の料金が適用されますので、ご注意ください。

参加者の連絡先等の参加者情報(参加者名を除く)の変更は、随時webサイトより実施していただけます。

◇参加証の事前送付について

事前参加登録いただき期限までにお支払を完了された方には、大会開催までに参加証一式(参加証、プログラム集引換券、参加費領収書等)を事前送付いたします。

◇講演要旨の事前公開について

事前参加登録を完了された方(参加費等支払済みの方)に、大会webサイトにて講演要旨を事前公開いたします。公開日に、講演要旨をご覧いただくためのID、PWを事前参加登録された際に登録いただいた電子メールアドレス宛にお送りいたします。

本大会の講演要旨公開は、2020年3月2日(月)を予定しています。

◇講演要旨集について

講演要旨集はUSBメモリとして販売いたします(大会参加者に対する価格：3,300円/個)。大会参加費には含まれておりませんので、ご注意ください。

ご購入は事前参加登録時にお申込みいただき現地で引換券と引き換えていただくか、あるいは現地にて販売いたします。事前参加登録時にお申込みいただいたもの、現地でお引き換えいただけなかった方は、後述する問い合わせ先まで大会終了後にご連絡ください。別途郵送いたします。講演要旨集USBメモリの数には限りがありますので、ご希望の方は、是非事前参加登録時にご購入ください。

なお、講演要旨集は、講演要旨集USBメモリの購入有無にかかわらず本大会に参加登録された方皆さん、大会終了から3か月後にwebからダウンロード(無料；ディスクイメージファイル)いただけます。

大会に参加されず講演要旨集のみご購入を希望される場合は、本会会員は12,100円(税込・送料込)、本会非会員は23,100円(税込・送料込)で販売しております。お申込みは随時大会webより承りますが、現物の発送は大会終了後にいたします。

◇その他詳細について

大会webサイトをご確認ください。

懇親会

大会講演会場の近くにある「凜風館」にて、会期二日目3月16日(月)夕刻に開催いたします。奮ってご参加ください。

参加費

大会参加費にはプログラム集(冊子；当日会場にてお渡しします)が含まれていますが、講演要旨集(USBメモリ)は含まれていません。ご注意ください。

大会参加費

会員資格	大会				懇親会			
	事前第一期	事前第二期	当日	備考	事前第一期	事前第二期	当日	備考
化学工学会個人会員の方								
正会員	10,000円	12,000円	12,000円	不課税	5,000円	6,000円	7,000円	課税 税込
シニア会員	6,000円	8,000円	8,000円		3,000円	4,000円	5,000円	
永年会員	5,000円	7,000円	7,000円		3,000円	4,000円	5,000円	
教育会員	5,000円	7,000円	7,000円		5,000円	6,000円	7,000円	
学生会員	5,000円	7,000円	7,000円		3,000円	4,000円	5,000円	
海外正会員	10,000円	12,000円	12,000円		5,000円	6,000円	7,000円	
海外連携会員	10,000円	12,000円	12,000円		5,000円	6,000円	7,000円	
海外学生会員	5,000円	7,000円	7,000円		3,000円	4,000円	5,000円	
化学工学会法人会員に属する方・部会に属する方等								
法人会員(*1)に属する社員	13,000円	15,000円	15,000円	不課税	5,000円	6,000円	7,000円	課税 税込
懇話会会員	13,000円	15,000円	15,000円		5,000円	6,000円	7,000円	
部会個人賛助会員	13,000円	15,000円	15,000円		5,000円	6,000円	7,000円	
部会法人賛助会員に属する社員	13,000円	15,000円	15,000円		5,000円	6,000円	7,000円	
(*1)維持会員、特別会員、特別地区会員								
他学会の個人会員の方等								
共催学会の個人会員	13,000円	15,000円	15,000円	課税 税込	5,000円	6,000円	7,000円	課税 税込
*2に記す海外学会の個人会員(学生を除く)	10,000円	12,000円	12,000円		5,000円	6,000円	7,000円	
*2に記す海外学会の個人会員(学生)	5,000円	7,000円	7,000円		3,000円	4,000円	5,000円	
(*2)AIChE：米国化学工学会、CIESC：中国化工学会、DECHEMA：ドイツ化学工学バイオ学会、KICHe：韓国化学工学会、TwICHe：台湾化学工程學會(略称アルファベット順)								
上記以外の方								
会員外	25,000円	30,000円	30,000円	課税 税込	5,000円	6,000円	7,000円	課税 税込

講演要旨集(USBメモリ)

会員資格	事前参加登録時同時購入 大会当日購入	大会終了後別途購入
本会会員 (個人/法人/部会個人・法人賛助会員)	3,300円/個(税込)	12,100円(税込・送料込)
本会非会員		23,100円(税込・送料込)

問合せ先

TEL：03-5312-6540 FAX：03-5379-0740
E-mail：scej.kta-tyo@keio-kanko.co.jp
営業時間 9:00～18:00(土・日・祝日は休業)

◇事前参加登録およびお支払方法に関するお問合せ

京王観光(株)東京中央支店
〒160-0022 東京都新宿区新宿2-3-10 新宿御苑ビル2階
(担当者：国分智史、池田栞)

◇その他に関するお問合せ
化学工学会 第85年会 実行委員会
E-mail：inquiry-85a@www3.scej.org

International Chemical Engineering Symposia 2020 (IChES 2020) 参加募集

会 場：関西大学 千里山キャンパス(〒564-8680 大阪府吹田市山手町3丁目3番35号)
 会 期：2020年3月15日(日)～3月17日(火)
 事前参加登録期間：第一期 2020年1月6日(月)～1月31日(金)23:59
 第二期 2020年2月1日(土)～2月15日(土)23:59
 大会WebサイトURL：<http://www.miraikagaku.xii.jp/iches/>

詳細は、大会webサイトをご覧ください。

なお、本大会に参加登録された方は、本大会と同日・同日程で併催される第85年会へもご参加いただけます。

人材育成センター

「バッチ操作を伴うプロセス設計」 講座(改定第3回)

主催 化学工学会人材育成センター継続教育委員会

日時 2020年3月5日(木)～6日(金)

場所 化学工学会議室(東京メトロ丸ノ内線茗荷谷駅【東京駅より11分】下車徒歩1分)

対象 以下の何れかに該当される方
 ・バッチプロセス、プラントの設計に携わる方(2～3年程度の経験者)
 ・「反応器の設計」講座 修了者

講習目標 本講座では、主に反応を伴うバッチプロセスを題材に、プロセスを設計する上で、留意しなければいけない基本的な思想、手法を学んでいただくとともに、特に、バッチプロセス特有の事象について学んでいただきます。

受講のメリット

- (1) バッチ操作を伴うプロセスを設計する際の留意点を理解できます。
- (2) バッチ操作を伴うプロセスにおけるプロセス機器、シーケンス制御の設計方法を理解できます。
- (3) バッチプロセスの製造工程および機器の選定を理解できます。
- (4) バッチプロセスの作業手順、機器の配置を理解できます。

(5) 修了レポートにより、理解度を更に深められます。

講義内容

第1日：3月5日(木)9:55～17:00

諸連絡(9:55～10:00)

1. バッチプロセスと連続プロセス
2. 反応
バッチ反応プロセスの設計
バッチ反応プロセス機器の設計
バッチ反応プロセスにおけるシーケンス制御の設計
バッチ反応プロセスの機器配
3. 蒸留
バッチ蒸留プロセスの設計
バッチ蒸留プロセス機器の設計
バッチ蒸留プロセスにおけるシーケンス制御の設計
バッチ蒸留プロセスの機器配置
4. 粉体混合プロセス
バッチ粉体プロセスの設計
バッチ粉体プロセス機器の設計
バッチ粉体プロセスにおけるシーケンス制御の設計
バッチ粉体プロセスの機器配置
- 第2日：3月6日(金)9:30～16:30
5. 設備の設計
設計思想
バッチプラントの製造工程と使用機器の検討
バッチプラント全体の作業手順と使用機器の配置

プロセスのレビュー

講師 経験豊富なエンジニア

小野喜弘氏(元三菱ガス化学(株)、上席化学工学技士)

遠藤真一氏(エーザイ(株)、総務・環境安全部ディレクター、上席化学工学技士)

受講証明書 出席基準を満たす受講者には、最終日に受講証明書を発行致します。

修了証 本講座では修了レポートを実施します。合格ラインに達した方には修了証を授与致します。

継続教育ポイント 受講証明書を授与した方には20 ptを授与致します。また、修了証を授与された方には更に10 ptを加算致します。

募集定員 20名(定員になり次第締切)6名に達しない場合は、開催中止となる場合がございます。

受講料(税別)

個人正会員 本体40,000円+税
 維持会員/特別会員の社員 本体50,000円+税
 地区会員の社員 本体60,000円+税
 会員外 本体70,000円+税

申込方法 化学工学会ホームページ右上の“各種申込”の“講習会申込”よりお申し込み下さい。

問い合わせ先

公益社団法人化学工学会 人材育成センター
 「継続教育」事務局
 〒112-0006 東京都文京区小日向4-6-19
 E-mail：jinzai-seminar@attマーク.scej.org
 TEL：03-3943-3527 FAX：03-3943-3530

産学官連携センター

グローバルテクノロジー(GT)委員会 2019年度第5回委員会

日時 2020年2月4日(火)15:00開始

場所 名古屋工業大学 校友会館1階(正門入ってすぐ右手つき当たり)
 〒466-8555 名古屋市昭和区御器所町
 JR中央本線または地下鉄鶴舞線 鶴舞駅下車 東へ徒歩約10分

講演会

15:00～15:55

「キャピテーション分散装置を利用した高容量世

代水系電極スラリーの開発について」

日本スピンドル製造(株)産機モリヤマ事業部

浅見圭一氏

「次世代型空間「ドライ&除電空間」を創造する「ドライブース」について」

日本スピンドル製造(株)空調・冷熱事業部

橘田直正氏

16:05～16:55

「1. KHネオケム(株)企業概要

2. 四日市工場における保安に影響を与える危険源の特定評価

3. 四日市工場におけるIoT、ビッグデータ等の活用」

KHネオケム(株)四日市工場執行役員工場長

近藤佳明氏

懇談会 17:00～19:00 名古屋工業大学 校友会館1階

詳細 下記のURLをご覧ください。

<http://www.ach.nitech.ac.jp/~chemeng/GTHP/gttop.htm>

申込方法 懇談会参加の有無をご記入いただき、2020年1月28日(火)までに下記連絡先のメールアドレス宛てにお申し込み下さい。

講演会(参加無料)の直後、講師を囲んでの懇談会に参加される方は当日4,000円を申し受けます。

連絡先 GT委員会 庶務担当 南雲 亮
E-mail: nagumo@nitech.ac.jp

2019年度 開発型企業の会 第5回技術交流会開催案内

主催 化学工学会 産学官連携センター 開発型企業の会

日時 2020年2月6日(木) 15:00～19:00
受付 14:30～, 講演会 15:00～17:00,
懇親会 17:00～19:00

会場 東京工業大学大岡山キャンパス南1号館2階215会議室
(目黒区大岡山2-12-1 東急目黒線, 大井町線大岡山駅前)

プログラム

今年度も、開発型企業の事業戦略と技術展開に焦点を当て、特集として技術講演会を開催していきます。今回は新春招待講演企画として脚光を浴びている連続生産・フロー合成の最近の取り組みの紹介も予定され、活発な討議が期待されます。

15:00～16:00 「少量連続生産に求められる化学プロセス技術」

京都大学 大学院工学研究科 化学工学専攻 教授 外輪健一郎氏

16:00～17:00 「大容量マイクロチャネルリアクター(SMCR[®])の開発および適用事例」

(株)神戸製鋼所 技術開発本部 機械研究所 松岡 亮氏

17:00～19:00 懇親会会場：東京工業大学食堂
参加費 5,000円 (懇親会費用含む：領収書は当日用意致します。)

定員 40名
申込締切 1月30日(木)

参加申込 お名前、勤務先/所属部署、連絡先(所在地、Tel/Fax、E-mail) 懇親会出席の有無をE-mailでお送りください。なお、定員を超えた場合はお断りする場合があります。

申込先 公益社団法人 化学工学会 開発型企業の会 事務局
E-mail: kaihatsugata@scej.org

第123回技術懇談会

第123回SCE・Net技術懇談会を下記により開催いたします。

今回の講演1では、元(株)クレハの紫垣氏より、同氏の30年強の企業研究の中で世に送り出すことができた二つの新素材(LIB負極剤、高機能生分解性樹脂ポリグリコール酸)を例にとり、同氏が開発して市場開拓を支えたユニークな製造プロセスについての概要を紹介して頂きます。講演2では、群馬大学大学院の黒田真一氏をお招きして、国際的に重要かつ喫緊の課題として検討が行われているマイクロプラスチックについて、現状の課題を整理した上で、マイクロプラスチックに関する対策の動向について概観して頂きます。

日時 2020年2月10日(月) 15:00～18:00

場所 化学工学会会議室
東京都文京区小日向4-6-9 (共立会館5F)
TEL: 03-3943-3527
(東京メトロ丸の内線茗荷谷駅より徒歩2分)

15:00～15:40

講演1 「素材メーカーにおける新素材プロセス開発の例」

工学博士 SCE・Net幹事、元(株)クレハ 研究開発本部長 紫垣由城氏

15:40～17:00

講演2 「マイクロプラスチックに関する課題と研究・対策の動向」

群馬大学 大学院 教授
理工学府 産学連携推進部門 副部門長
理工学府 環境創生部門 副部門長
工学研究科 生産システム工学専攻(兼任)

黒田真一氏

17:00～18:00

懇親会 講演会終了後、講師の方も参加して頂き、情報交換、懇親の機会を設けます。

定員 35名

会費 1,500円(当日会場受付でお支払い下さい) 但しSCE・Netの法人会員は無料です。

参加申込 お名前、勤務先、所属部署、連絡先(所在地、TEL、FAX、E-mail)、懇談会出席の有無を記載して、E-mailで2020年1月31日までに、お申し込み下さい。

申込先 SCE・Net事務局
E-mail: scenet@scej.org

部 会 C T

CVD反応分科会

第4回講習会 「CVD・ALDプロセスの基礎」

主催 反応工学部会CVD反応分科会、CVD研究会、Cat-CVD研究会、TIAかけはし、NIMS

日時 2020年2月28日(金) 10:00～18:30

場所 東京大学 本郷キャンパス 工学部11号館1階 HASEKO-KUMA-HALL

プログラム

9:30～10:00 受付

10:00～10:05 開会挨拶

10:05～11:45 反応速度論とCVDプロセスの反応速度解析

京都大学 河瀬元明氏

11:45～12:15 CVD反応器の形状と操作が製膜速度分布・膜質に及ぼす影響

横浜国立大学 羽深 等氏

12:15～13:30 休憩

13:30～14:00 量産対応CVD装置の概要とシミュレーションを活用した設計・開発

東京エレクトロンテクノロジーソリューションズ(株) 川上雅人氏

14:00～15:00 CVDにおける素反応の量子化学計算の方法と素反応シミュレーションの実例

産業技術総合研究所 松木 亮氏

15:00-16:00 MOVPEによる化合物半導体成長における製膜速度分布の制御

東京大学 杉山正和氏

16:00～16:20 休憩

16:20～18:00 ALDの基礎と応用用途

東京大学 霜垣幸浩氏

18:00～18:30 CVD・ALD原料の特性と原料選択の指針

気相成長(株) 町田英明氏

18:40～20:00 懇親会

オーガナイザー

河瀬元明(京都大学)、百瀬 健(東京大学)

参加費 化学工学会CVD反応分科会法人賛助会員1口につき1人無料、2人目以降は10,000円、化学工学会CVD反応分科会個人会員10,000円、化学工学会会員15,000円、CVD研究会会員15,000円、Cat-CVD研究会会員15,000円、非会員20,000円、学生5,000円

申込方法 <http://www2.scej.org/cre/cvd/> よりお申し込み下さい。アクセスできない場合には、(1)氏名、(2)所属、(3)連絡先E-mail、(4)参加資格(所属学会等)、(5)懇親会出欠を明記の上、cvd@scej.org までメールにてお申し込み下さい。

申込締切 2月21日(金)

問い合わせ先 CVD反応分科会事務局
E-mail: cvd@scej.org

地 域 C T



東 北 支 部

第65回プロセス設計技術 講演会・見学会

主催 化学工学会東北支部
共催 宮城化学工学懇話会、日本LCA学会地域産業共生研究会、化学工学会社会実装学研究会、(一財)青葉工学振興会・持続工学研究会

日時 2020年1月31日(金)
会場 JXTGエネルギー 仙台製油所(〒985-0901 宮城県仙台市宮城野区港五丁目1番1号) 13:00にJR多賀城駅前。タクシーまたはバスで移動予定。

内容 JXTGの仙台製油所のプロセスの見学と、関連テーマについての講演を通じて、未来社会における製油所の役割について意見を交わし、理解を深めます。詳細決定次第、東北支部のホームページ(<http://www.che.tohoku.ac.jp/scej/>)に掲載いたしますのでご参照ください。
見学会 13:30～15:00
講演会 15:20～17:50
懇親会 18:30～(場所未定)

参加費 主催・共催団体会員:無料, 非会員:1,000円, 学生:無料
申込締切 2020年1月24日(金)
申込方法 参加者のお名前, 所属, 連絡先(E-mail, 電話など), 懇親会のご出欠の有無を記入の上, E-mailまたはFAXにて下記連絡先までお申し込みください。申し込み多数の場合, ご参加いただけないこともあります。
連絡先 東北大学大学院工学研究科 化学工学専攻 福島康裕 准教授
TEL: 022-795-5869 FAX: 022-795-4130
E-mail: fuku@sis.che.tohoku.ac.jp



関 東 支 部

第11回ホットな話題の講演会 令和元年度東日本地区 ミキシング技術サロン 「気液分散のオペレーションと デザインの現在と未来」

主催 (公社)化学工学会関東支部
共催 粒子・流体プロセス部会ミキシング技術分科会
協賛 混相流学会, 開発型企業の会

現在, 流体を取り扱う装置の設計や運転において, 気液系, 固液系などの混相流の取り扱いが非常に重要になってきており, 今後ますます着目される分野である。本講演会では, 培養分野におけるラボスケールから生産スケールへのスケールアップを可能とし, 再生医療にも貢献できる技術開発事例や, 装置内の流動解析において重要性が高まっている固液系, 液液系などの混相系に関する実験, および数値解析に関する最先端の研究事例と今後の展開についてご紹介

介頂きます。さらに, 国内で唯一攪拌だけを専門とする研究所を有する佐竹化学機械工業(株)の見学を致します。

日時 2020年2月17日(月)午後13:30～19:00
会場 佐竹化学機械工業(株)
(<https://www.satake.co.jp/>)
〒335-0021 埼玉県戸田市新曾66
(TEL: 048-433-8711)
JR埼京線 戸田駅下車 徒歩5分

プログラム
13:30～13:35 開会の挨拶
第1企画委員長 大友順一郎氏
13:35～14:15 講演1: 高効率上下動攪拌培養装置“VMF Reactor”の開発と製品化
佐竹化学機械工業(株) 加藤好一氏
14:15～14:55 講演2: 粉体シミュレーションの技術開発と産業利用
プロメテック・ソフトウェア(株) 山井三亀夫氏
14:55～15:35 講演3: スプレーノズルを用いた混合システムの開発
東京理科大学 庄野厚氏
15:35～15:50 休憩
15:50～17:20 佐竹化学機械工業(株)見学(3～4グループでの見学を予定)
17:20～17:25 閉会の挨拶
東京工業大学 吉川史郎氏
17:30～19:00 交流会

定員 40名(定員になり次第締め切らせていただきます)
参加費 正会員:11,000円, 法人会員・協賛団体会員:13,000円, 学生会員:4,000円, 会員外:17,000円, ミキシング技術分科会会員(個人会員, 法人会員)の参加費につきましては申込先東京工業大学吉川までE-mailでお問い合わせください。
尚, それぞれの参加費にはテキスト代・消費税が含まれます。
支払方法 受付後, 参加証と共に送りする振替用紙にて事前にお振り込みください。当日, 会場での現金払いも可能です。当日になってのキャンセルの場合は参加費を請求させていただきます。

申込締切 2020年2月3日(月)
申込方法
・E-mailによる申込み
E-mailによりメール件名を「第11回ホットな話題講演会」あるいは「東日本地区ミキシングサロン」として以下内容をお送りください。
会社・学校名, 参加者名, 所属部署, 郵便番号, 住所, 電話, FAX番号, E-mailアドレス, 会員資格*, 参加費請求書送付の必要の有無
送付先: syoshika@chemeng.titech.ac.jp (E-mailによる申込みが困難な場合は, 下記WebあるいはFAXにてお申し込みください)
・Web申込み
関東支部HP (<http://www.scej-kt.org>)の次回行事開催一覧の「第11回ホットな話題講演会」をクリック後「参加申込みフォーム」をクリックするとフォームのウィンドウが開きますので, 会員資格*を含め, 必要事項を記入の上, ご送信ください。
・FAXによる申込み
下記関東支部事務局宛, 「第11回ホットな話題講演会」と明記し, 会社・学校名, 参加者名, 所属部署, 郵便番号, 住所, 電話, FAX

番号, E-mailアドレス, 会員資格*, 参加費請求書送付の必要の有無をご記入の上お送りください。

*ミキシング技術分科会会員の方はその旨明記願います。また, ミキシング技術分科会会員資格についてご不明な点等は下記吉川宛E-mailでお尋ねください。
E-mail: syoshika@chemeng.titech.ac.jp
東京工業大学物質理工学院応用化学系 吉川史郎
TEL&FAX: 03-5734-3278

神奈川地区見学講演会 『最新タービン技術とその展開』

主催 公益社団法人 化学工学会 関東支部
協賛 公益社団法人 化学工学会 神奈川技術懇話会

水蒸気を駆動源とする蒸気タービンによる発電は, 一般の火力発電所のみならずいろいろな再生可能エネルギーを熱に変換して発電する場合に広く用いられています。一方で燃料ガスを燃焼することにより駆動力を得るガスタービンも, 航空機を始めとして広く使われており, 近年は大きな出力を必要とするプラントにも広く採用されてきています。

これらタービンは, 技術の進展とともにその効率も大きく向上してきており, さらに再生可能エネルギーをより効率的に利用するためにも, その重要性は増大していると言えます。

本講演会は, 東芝エネルギーシステムズ殿のご協力を得て, 最新の技術を用いてタービンを製造しているタービン工場の見学, および最近のより高度なタービン利用に関する2件の講演で構成しました。各位の積極的な参加をお待ちしています。

日時 2020年2月17日(月) 13:30～17:15(交流会 17:30～19:00)
会場 東芝エネルギーシステムズ(株) 京浜事業所タービン工場
〒230-0045 神奈川県横浜市鶴見区末広町1-9
(交通) JR鶴見駅(東口)8番バス乗り場より 臨港バス「鶴08系統 ふれーゆ」行 東芝西タービン前下車(所要時間: 約10分)

プログラム
(開会の辞(13:30～13:40))
13:30～13:35 (公社)化学工学会 関東支部第2企画委員会副委員長挨拶
日揮グローバル(株) 山本尚司
13:35～13:40 東芝エネルギーシステムズ(株) ご挨拶
東芝エネルギーシステムズ(株)
(講演(13:40～15:00))
13:40～14:20 「ガス化による非化石炭素系資源の有効利用」
東京農工大学 准教授 伏見千尋氏
14:20～15:00 「超臨界CO₂ サイクル発電システムの開発」
東芝エネルギーシステムズ(株) シニアエキスパート 高橋武雄氏
(休憩(15:00～15:15))
(工場見学(15:15～17:10))
15:15～15:30 東芝エネルギーシステムズ 京浜

事業所 概要説明

15:30～16:50 工場見学(タービン工場)
 16:50～17:10 質疑応答
 〈閉会の辞(17:10～17:15)〉
 (公社)化学工学会 関東支部第2企画委員会委員
 長挨拶
 千代田化工建設(株) 蛙石健一
 〈交流会(17:30～19:00)〉
 17:30～19:00 東芝エネルギーシステムズ(株)
 京浜事業所 食堂

募集人員 40名(タービン製造企業等の社員および関係者の参加はご遠慮ください)
 参加費 化学工学会 正会員 6,000円, 法人会員 8,000円, 学生 2,000円, 会員外 10,000円, サロンメンバー 4,000円, 神奈川技術懇話会メンバー 6,000円

申込方法 Web, メールあるいはFAXにてお申し込みください。
 ・Web申込み: 関東支部HP (<http://www.scej-kt.org/>)の次回行事開催一覧の「神奈川地区見学講演会」をクリック後「参加申込みフォーム」をクリックするとフォームのウインドウが開きますので、必要事項を記入の上、ご送信ください。
 ・FAX, E-mailによる申込み: 下記関東支部事務局宛、「神奈川地区見学講演会」と明記し、会社・学校名、参加者氏名、所属部署、郵便番号、住所、電話番号、FAX番号、E-mailアドレス、会員資格、参加費請求書送付の必要の有無をご記入の上お送りください。

キリバス共和国は太平洋中部に位置する赤道に沿った33の環礁と島々からなる共和国です。海拔が低いため、海面上昇によって国の消失の危機が叫ばれています。

今回は、日本キリバス協会代表理事のケンタロ・オノ氏をお迎えし、キリバスの視点から地球温暖化・気候変動問題について講演いただく機会を設けました。

2019年9月の国連気候行動サミットでの報道をきっかけに、世界中から地球温暖化ガスの削減について、ますます注目が集まっています。化学に携わる技術者・研究者として美しい地球環境を後世に残すためにどうした対策が必要か、サステナブルな社会の構築へのビジネスヒントを探る機会といたします。

プログラム

15:30 開会挨拶
 化学工学会東海支部 支部長 川瀬泰人
 15:35 「だれ一人取り残されないために＝僕の国キリバスからのメッセージ＝」
 一般社団法人日本キリバス協会 代表理事
 ケンタロ・オノ氏
 (前キリバス共和国名誉領事・大使顧問)
 17:00 懇談会

定員 60名(定員になり次第締め切ります)
 参加費 化学工学会ならびに共催団体個人・法人会員会社社員 5,000円, 会員外 10,000円(懇談会費および消費税を含む)
 申込方法 下記東海支部ホームページの参加申込フォームよりお申し込みください。
 参加費は銀行振込(みずほ銀行名古屋支店普通預金 1055521 公益社団法人化学工学会東海支部)または郵便振替(名古屋00880-7-5640)にてご送金ください。
 申込先 公益社団法人 化学工学会東海支部
 〒466-8555 名古屋市昭和区御器所町 名古屋工業大学 生命・応用化学科化学工学研究室
 TEL: 080-4525-3070
 HP: <http://scej-tokai.org/>

日時 2020年3月9日(月)9:30～19:00
 場所 大阪科学技術センター4階404号室(大阪市西区靱本町1-8-4)
 〈交通〉Osaka Metro(地下鉄)四つ橋線「本町」駅25・28番出口を北へ徒歩約5分、うつば公園北詰

プログラム

1. 高分子の概論と合成～基礎と最先端合成技術(9:30～11:00)
 京工織大院工芸科学 中 建介氏
 2. 高分子の製造技術～重合反応装置における攪拌と混合(11:00～12:10)
 住重機械プロセス機器 竹中克英氏
 3. 高分子物性の基礎と応用～相溶性と高分子ブレンド(13:20～14:40)
 滋賀県大工 徳満勝久氏
 4. 高分子の成形加工品の評価～ユーザーから見れば(14:40～15:50)
 大阪ガス 樋口裕思氏
 5. 研究開発と事業化～機能的ポリマーの企業化例を通じて(16:10～17:20)
 日本触媒 上田賢一氏
 6. 交流会(17:30～19:00)同センター 地下1階 B101号室(参加無料)
 参加費 主催・共催団体会員 30,000円, 会員外 40,000円(消費税, テキスト代含む)
 申込方法 ホームページ (<http://www.kinka.or.jp/event/2020/kobunshi17.html>)からお申し込みください。もしくは、標記行事名を題記し、1)氏名、2)勤務先(所属)、3)連絡先(住所、郵便・電話番号、E-mail)、4)会員資格、5)交流会の参加の有無、6)送金方法を明記のうえ、下記宛にお申し込みください。参加費は、銀行振込(三井住友銀行備後町支店 普通預金No.1329441 一般社団法人近畿化学協会)、郵便振替(00930-5-64179 一般社団法人近畿化学協会)のいずれかをお願いします。(振込手数料は参加者でご負担願います)
 申込先 一般社団法人近畿化学協会
 〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4 大阪科学技術センター6階
 TEL: 06-6441-5531 FAX: 06-6443-6685
 E-mail: mail@kinka.or.jp

東海支部

第117回東海技術サロン
 (CSTCフォーラム)
 だれ一人取り残されないために
 =僕の国キリバスからのメッセージ=
 主催 化学工学会東海支部・(公財)中部科学技術センター・東海化学工業会

日時 2020年2月18日(火)15:30～19:00
 会場 ルブラ王山(名古屋市千種区覚王山通8-18)
 TEL: 052-762-3151
<http://www.rubura.org/access/index.html>
 交通 地下鉄東山線池下駅下車2番出口(サンクレア池下地下1階)より徒歩3分

関西支部

第17回キンカ高分子化学研修コース
 主催 近畿化学協会
 共催 化学工学会関西支部ほか

お知らせ

第9回 新化学技術研究奨励賞
 研究助成テーマの公募
 応募資格 国内の大学またはこれに準ずる研究機関において研究活動に従事する方で、2019年4月1日時点で満40歳未満の方。但し、特別課題については年齢制限はありません。

募集課題 全13課題
 募集締切 2020年2月10日(月)
 選考件数 各募集課題につき原則として1件
 研究助成金 100万円/件
 応募方法 JACIのホームページよりご応募下さい。
 問合せ先 公益社団法人 新化学技術推進協会 研究

奨励賞事務局
 TEL: 03-6272-6880
 E-mail: jaciaward9@jaci.or.jp
 ※詳細はホームページをご確認ください。
 HP: http://www.jaci.or.jp/recruit/page_02_09_2020.html

「化学工学」誌会告欄執筆基準の周知について

化学工学誌における会告原稿について下記の基準を設けております。情報伝達の効率化とスリム化のための措置であり、特段のご配慮を戴きたくお願いいたします。(なお、原稿は掲載月の前々月25日迄に、日本印刷(株)(秋山)、E-mail <edit@npc-tyo.com>までWORDの添付ファイル形式でお届け下さい。)

尚、会誌掲載原稿は学会のホームページにも掲載します。

記

特に記載のある場合以外はすべての案内記事を1回掲載とし、会告欄掲載以降は実施月までカレンダーに掲載し、案内収録号参照とする。一つの案内記事内に重複情報は入れないように配慮する。

(本部関係)

- 集会(年会、秋季大会)、参加案内記事
 1. 講演募集およびシンポジウムテーマ募集は1回掲載
 2. 参加募集は3回掲載(内1回は予告)
 3. プログラムは1回掲載
- 会費納入案内は3回掲載
- 総会案内は2回掲載

(支部・各部門関係)

- 支部大会参加案内記事
 1. 講演募集は1回掲載
 2. 参加募集は2回掲載
 3. プログラムは1回掲載
- その他集会(講習会、講演会、学生行事など)
 1. 1回掲載とする。
 2. ア) 内容プログラムがある場合は前文は書かない。(企画意図、開催意義などはプログラム内容で判断できる。)イ) プログラムがなく内容説明が不可欠の場合は数行程度で簡潔に記載する。(会告記事としてあたりまえのことは記載しない。例：多数の参加をお待ちします。一会告を出すのは参加を呼びかけるのが目的であるからこのような記載は不要—)
 3. 内容プログラムは実質部分のみとする。(羅列的に記述せず、内容としての要点のみとする。一例：開会・終了挨拶などは削除)
 4. 参加要領等(参加申し込み方法、参加費支払方法など)は必要最小限の情報とする。

求人情報

- 必要最小限の情報(機関名・人員・専門分野・応募資格・応募締切日・問合せ先・TEL・E-mail等)にとどめる。

共催・協賛行事等案内

- 原則として、カレンダーのみとする。

図書等(学会＝本部・支部刊行)案内

- 内容を数行で紹介することを標準とする。(目次の羅列的介绍は行わない)

追記：上記基準を逸脱している原稿については、情報サービスセンター長の判断で内容変更を伴わない配慮をした上で短縮します。

以上